

令和 7 年度愛媛県総合防災訓練の実施概要について

1 訓練目的

大雨と地震による複合災害が発生したことを想定し、防災関係機関・県民・自主防災組織及び民間協力団体の連携に重点を置いた実践的な訓練を実施することにより、防災体制の一層の充実強化、応急対策の機能向上を図るとともに、安全・安心な地域づくりに資することを目的とする。

2 実施日時

令和 7 年 9 月 7 日（日） 9 時 30 分～12 時 00 分

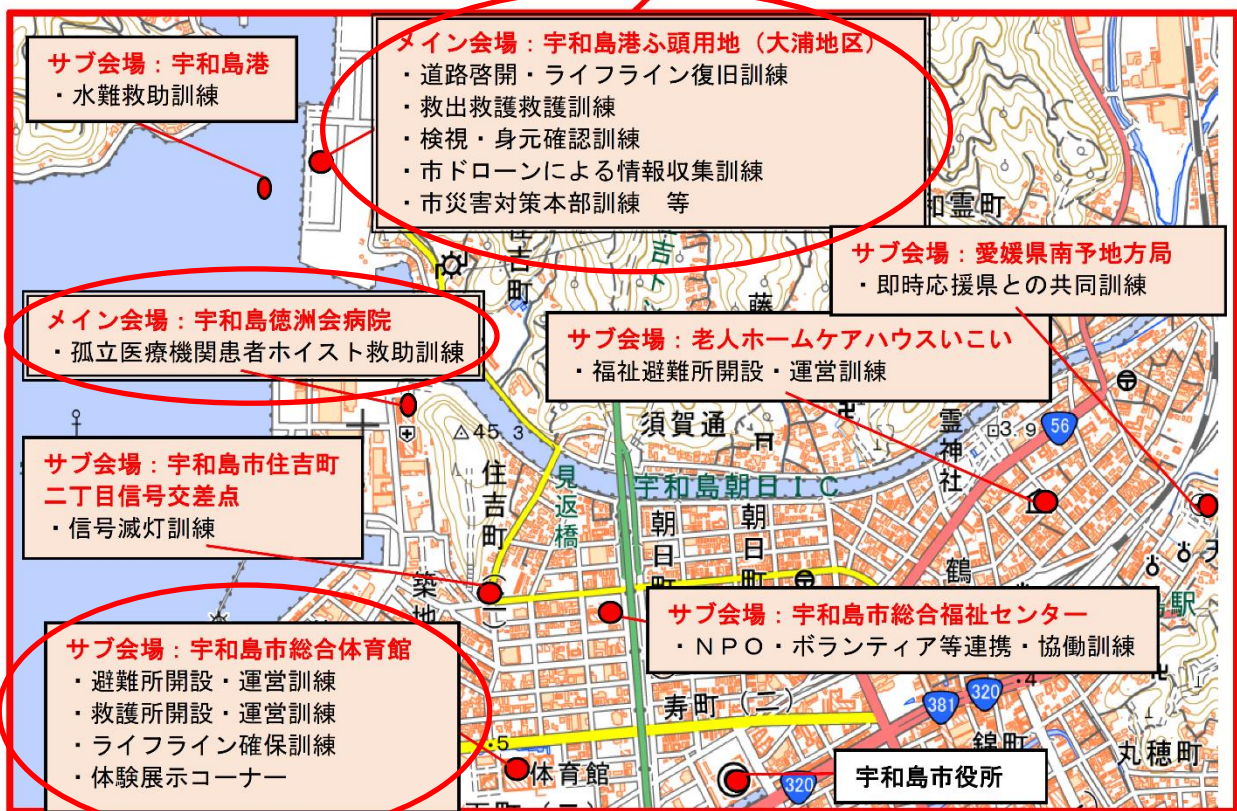
3 参加人数

104 機関 約 6,300 人

4 実施場所

- ①メイン会場 宇和島港ふ頭用地（大浦地区）
- ②サブ会場 宇和島市大浦地区、宇和島市総合体育館（駐車場）、宇和島市総合福祉センター、宇和島市住吉町二丁目信号交差点、宇和島港、宇和島徳洲会病院、防災道の駅みま、ケアハウスいこい、九島ヘリポート、愛媛県南予地方局

訓練実施場所



国土地理院の電子地形図に訓練会場説明を追記して掲載

メイン会場（宇和島港ふ頭用地）詳細図



訓練実施時間

[illegible]

訓練報告 1：メイン会場（宇和島港ふ頭用地）

○土砂埋没車両及び倒壊家屋からの傷病者救出・救護訓練

大規模な地震や土砂崩れによる車両の巻き込まれ事故や建物の倒壊等により安否不明者が多数発生、上空や地上からの搜索活動を実施し、関係機関が相互に連携しながら救出、救護活動を実施した。

現場に応急救護所を設置し、傷病者のトリアージ、DMAT 等の応急救護措置、医療機関選定を行い、緊急度、重傷度の高い傷病者から医療機関へ搬送した。

＜応急救護措置の状況＞



訓練報告2：サブ会場（宇和島市総合体育館）

○避難所開設・運営訓練

前日から降り続く大雨に続き、翌朝には大地震が発生、宇和島市災害対策本部は大浦地区に避難指示を発令し、避難所、救護所等を設置。

宇和島市総合体育館の避難所では、各自主防災組織、宇和島市等が連携し、感染症対策に留意した避難者受付、避難所運営を実施するとともに、保健師・DPAT による避難者の健康チェックとメンタルケアを行った。

<①受付の状況>



<②避難所テントの状況>



<③要配慮者テントの状況>



<④中学生防災士の説明>



<⑤保健師等による巡回状況>



<⑥DPAT による問診状況>



○救護所開設・運営訓練

発熱患者用と発熱患者以外用に分けた診察ブースを設営し、医師による診療を実施するとともに、災害対策医薬品供給車両（モバイルファーマシー）による医薬品の交付や服薬指導を行った。

<①医師による問診状況>



<②モバイルファーマシーの状況>



訓練報告3：サブ会場（宇和島徳洲会病院）

○孤立医療機関患者ホイスト救助訓練

大規模な地震による地盤低下で浸水が長期化する宇和島徳洲会病院から糖尿病などの慢性疾患のある患者を広域搬送する目的で、病院屋上のヘリポートから県防災ヘリを使用したピックアップを実施した。

＜徳洲会病院屋上からのピックアップ状況＞

